

## 平成十五年『路』年間賞

選考委員 金子美知子・二宮茂男・藤原和美・高橋里江子

松田一州・吉澤和子・瀧 正治・荒巻重義

最高賞（賞状・入賞句彫刻楯 副賞・平成十五年『路』合作本）

九条の鳩どしゃぶりの雨の中

高橋里江子

（特選）美知子 重義

最高賞（賞状・入賞句彫刻楯 副賞・平成十五年『路』合作本）

食卓の向こうで伏せる狙撃兵

藤原 和美

（特選）茂男 和子



高橋里江子

### 砂上の楼閣にて

今まさに「九条」が揺れに揺れている真っ只中です。国民の一人一人が固唾を呑んで、この危うい現状の成り行きを見つめています。そのような折に、タイミングよく最高賞の一句に選ばれた偶然に驚き、そして感激。川柳に盛り込まれる「九条」は今どき決して珍しくありませんが、私なりの脚色をしました。水華川柳の社会性と時代感覚に、少しでも近づけたら幸いです。節目の十年、受賞に背を押され頑張ります。ありがとうございます。



藤原 和美

### 受賞の幸せ

背を低くしながら前進する兵隊と一緒に、確かに、私も銃口のこちら側にいた。昨日も今日も、ぬくぬくと湯気の立つ食事を持ち、画面の奥の炸裂を聞く。これを幸せというのだろうか？

昔親子で楽しんだNHKの「ひょうたん島」が再放送になっているが、浮き島の冒険物語は日本の現在と重なって、より現実的であり、そして風刺が効いている。個人の幸せは小さな種と、周囲の大きな育みがあってこそ実感。ありがとうございます。

次点

繕った端から老いは綻びる	岩淵 不弁
(特選) 茂男 (秀逸) 重義	
癒し系サイトに育つ蒼いバラ	荻原 鹿声
(特選) 和美 (秀逸) 和子	
目に見えぬ不安波打ち際あるく	江澤多香子
(特選) 美知子(佳作) 茂男	
しきたりの中のボタンがよく外れ	樋口 仁
(特選) 里江子(佳作) 茂男	
豆の木に登る男のまま死のう	岡田 話史
(特選) 里江子(佳作) 和美	
ITに振り掛けてみる解熱剤	高橋里江子
(特選) 和子 (佳作) 和美	
思いつきメダカよジャンプしてごらん	伊藤 我流
(秀逸) 美知子 和美	
ぞろぞろとひとりぼっちの靴が鳴る	保田 二郎
(秀逸) 和子 正治	
腕組んで見てるあなたも共犯者	内平登代子
(秀逸) 茂男 (佳作) 和子	
真っ白な手袋暫し殉教者	内平登代子
(特選) 和美	
一言がこんなに深い谷になる	原 涛声
(特選) 一州	
逆光に旗幟鮮明のシルエット	日野 輝紀
(特選) 一州	
虐殺の牛はおいしく吊つてある	保田 二郎
(特選) 正治	
走りきった軽さにいまだなれぬ靴	荻原 鹿声
(特選) 正治	
冬の雲 男のカバンから溢れ	土谷 正
(特選) 重義	
潮騒をひそと鎮めて母でいる	佐藤 章子
(佳作) 和子 正治	
略奪のニユース ざわつと花吹雪	藤原 和美
(秀逸) 美知子	
少年法やがてやがては0才児	後藤 洋子
(秀逸) 美知子	

惚ける日のはなし夕餉の皿の数	吉澤 和子
(秀逸) 茂男	
千羽目の鶴 天の声聞き流す	金子美知子
(秀逸) 茂男	
ハンドルを忘れ人間臭くなる	土谷 正
(秀逸) 和美	
うなだれた神へバーボンウイスキー	小泉 正巳
(秀逸) 和美	
偶像は倒れ新たな沼生まれ	荻原 鹿声
(秀逸) 里江子	
勲章を吊るすと折れる肋骨	松田 一州
(秀逸) 里江子	
深呼吸するとゆっくり聞ける嘘	鈴木異呂目
(秀逸) 里江子	
金の夕陽だダウンロードしてみるか	樋口 仁
(秀逸) 一州	
生きてゆく寒さは言わぬ冬木立	渡部トミ子
(秀逸) 一州	
玉ねぎの一枚ずつの黙秘権	門林 操子
(秀逸) 一州	
墓に水かけると舌打ちが止まる	小泉 正巳
(秀逸) 和子	
絵に描いた泉に今日を生かされる	土谷 正
(秀逸) 正治	
木枯らしが運ぶ花の芽戦の芽	藤原 和美
(秀逸) 正治	
人間の欲を見飽きた埴輪の目	沢田 清敏
(秀逸) 重義	
燃え尽きる日まで奈落の情にふれ	野村 春香
(秀逸) 重義	
歯ざしりの音が溜っている定期	荻原 鹿声
(佳作) 美知子	
よくできた母でも又の名は姑	吉澤 和子
(佳作) 美知子	
窓が開く風船一気に舞い上がる	佐々木彩乃
(佳作) 美知子	
洗いざらしの反旗が妻のポケットに	神谷三八朗
(佳作) 茂男	

年金の減額を聞く糸蜻蛉	岡田 話史
(佳作) 和美	
支え合うことに飽きてく人の字よ	千葉 風樹
(佳作) 和美	
お互いの表層雪崩見て暮れる	岩淵 黙人
(佳作) 里江子	
電源が切れると其処は地獄です	内平登代子
(佳作) 里江子	
高速路できてふるさと割れる音	渡辺 誠也
(佳作) 里江子	
本当の看護看させてもらいます	堀井 勉
(佳作) 一州	
働いてなお貧しくて花を貰う	二宮 茂男
(佳作) 一州	
父たちの胸を子どもが見失う	高橋 甫
(佳作) 一州	
反骨の男羊の群れに居る	松田 一州
(佳作) 正治	
悪さした数だけケルン積み上げる	高橋里江子
(佳作) 正治	
花の散る音が聞こえた眠れぬ夜	後藤 洋子
(佳作) 重義	
古書店の魑魅魍魎と遊ぶ風邪	古俣 麻子
(佳作) 重義	
平手より 水鉄砲の笑い声	高橋 甫
(佳作) 重義	